

国際バカロレアの普及促進に向けた検討に係る有識者会議（第2回）  
議事次第

1. 日時 令和4年11月24日（木） 13：00－16：00

2. 場所 オンライン開催（ZOOM）

3. 議題

- (1) 国際バカロレアを活用した大学入試について
- (2) 有識者ヒアリング
- (3) 主な検討事項（案）について
- (4) その他

4. 配付資料

- |       |   |
|-------|---|
| 資料1   | 国際バカロレアの普及促進に向けた検討に係る有識者会議における<br>主な検討事項（案） |
| 資料2   | 国際バカロレアを活用した大学入試に関する調査結果等                   |
| 資料3   | 荻野委員 提出資料                                   |
| 資料4   | 茗渓学園中学校高等学校 提出資料                            |
| 資料5   | 山口委員 提出資料                                   |
| 資料6   | 上智大学 提出資料                                   |
| 資料7   | 今後のスケジュール（案）                                |
| 参考資料1 | 国際バカロレアの普及促進に向けた検討に係る有識者会議の開催に<br>について      |
| 参考資料2 | 国際バカロレアの普及促進に向けた検討に係る有識者会議運営規則              |
| 参考資料3 | 基礎資料集                                       |

## 国際バカロレアの普及促進に向けた検討に係る有識者会議 における主な検討事項（案）

IB 教育の効果や好事例を波及させることで、初等中等教育の発展に資するとともに、IB の導入促進につなげる。また、IB を活用した大学進学を拡大するほか、IB の教育効果等を把握・発信することで、IB の更なる普及につなげ、好循環を作り出す。

### ① 幼小中学校段階（PYP、MYP）での IB の普及

幅広い学校での教育に取り入れてもらうための方策を検討  
(具体例)

- ・各地域の公開授業やアドバイザー等を通じて、IB 校以外の学校にも IB 教育の効果や好事例を波及

### ② 高等学校段階（DP）での IB の普及

幅広い学校での教育に取り入れてもらうための方策を検討  
(具体例)

- ・各地域の公開授業やアドバイザー等を通じて、IB 校以外の学校にも IB 教育の効果や好事例を波及
- ・大学入試での IB の活用状況等の情報を発信

### ③ 大学入試での IB の活用促進

進路の多様化のための方策を検討

(具体例)

- ・国内の IB 生と海外の IB 生を対象とした国内大学入試での IB の活用を促進

### ④ IB の教育効果等の把握・検証

上記①～③で活用可能な調査研究に関する検討

(具体例)

- ・IB の教育効果に関する調査研究
- ・海外の IB 事情に関する調査（IB の導入状況、大学入試での IB の活用状況等）

## IBを活用した国内大学入試

全学部実施 (35大学)	一部学部実施 (33大学)
<b>【国立】</b>	
<u>筑波大学</u>	<u>浦和大学</u>
<u>お茶の水女子大学</u>	<u>日本工業大学</u>
<u>東京医科歯科大学</u>	<u>武蔵野学院大学</u>
<u>東京外国語大学</u>	<u>工学院大学</u>
<u>東京学芸大学</u>	<u>国際基督教大学</u>
<u>金沢大学</u>	<u>芝浦工業大学</u>
<u>名古屋大学</u>	<u>玉川大学</u>
<u>京都工芸繊維大学</u>	<u>東京都市大学</u>
<u>岡山大学</u>	<u>東洋大学</u>
<u>九州工業大学</u>	<u>日本獣医生命科学大学</u>
<u>鹿児島大学</u>	<u>ビジネス・ブレークスルーダークス</u>
<b>【公立】</b>	
<u>国際教養大学</u>	<u>松本歯科大学</u>
<u>会津大学</u>	<u>中京大学</u>
<u>横浜市立大学</u>	<u>京都外国語大学</u>
<u>兵庫県立大学</u>	<u>関西学院大学</u>
<b>【私立】</b>	
<u>東北福祉大学</u>	<u>神戸女学院大学</u>
	<u>倉敷芸術科学大学</u>
	<u>西南学院大学</u>
	<u>立命館アジア太平洋大学</u>
	<b>【国立】</b>
	<u>北海道大学</u>
	<u>東北大学</u>
	<u>秋田大学</u>
	<u>東京藝術大学</u>
	<u>東京大学</u>
	<u>京都大学</u>
	<u>大阪大学</u>
	<u>広島大学</u>
	<u>九州大学</u>
	<u>長崎大学</u>
	<b>【公立】</b>
	<u>東京都立大学</u>
	<u>都留文科大学</u>
	<u>大阪公立大学</u>
	<b>【私立】</b>
	<u>明海大学</u>
	<u>青山学院大学</u>
	<u>学習院大学</u>
	<b>慶應義塾大学</b>
	<u>順天堂大学</u>
	<u>上智大学</u>
	<u>創価大学</u>
	<u>中央大学</u>
	<u>東京国際大学</u>
	<u>日本体育大学</u>
	<u>法政大学</u>
	<u>武蔵野大学</u>
	<u>明治学院大学</u>
	<u>明治大学</u>
	<u>立教大学</u>
	<u>早稲田大学</u>
	<u>愛知医科大学</u>
	<u>立命館大学</u>
	<u>関西大学</u>
	<u>近畿大学</u>

計68大学

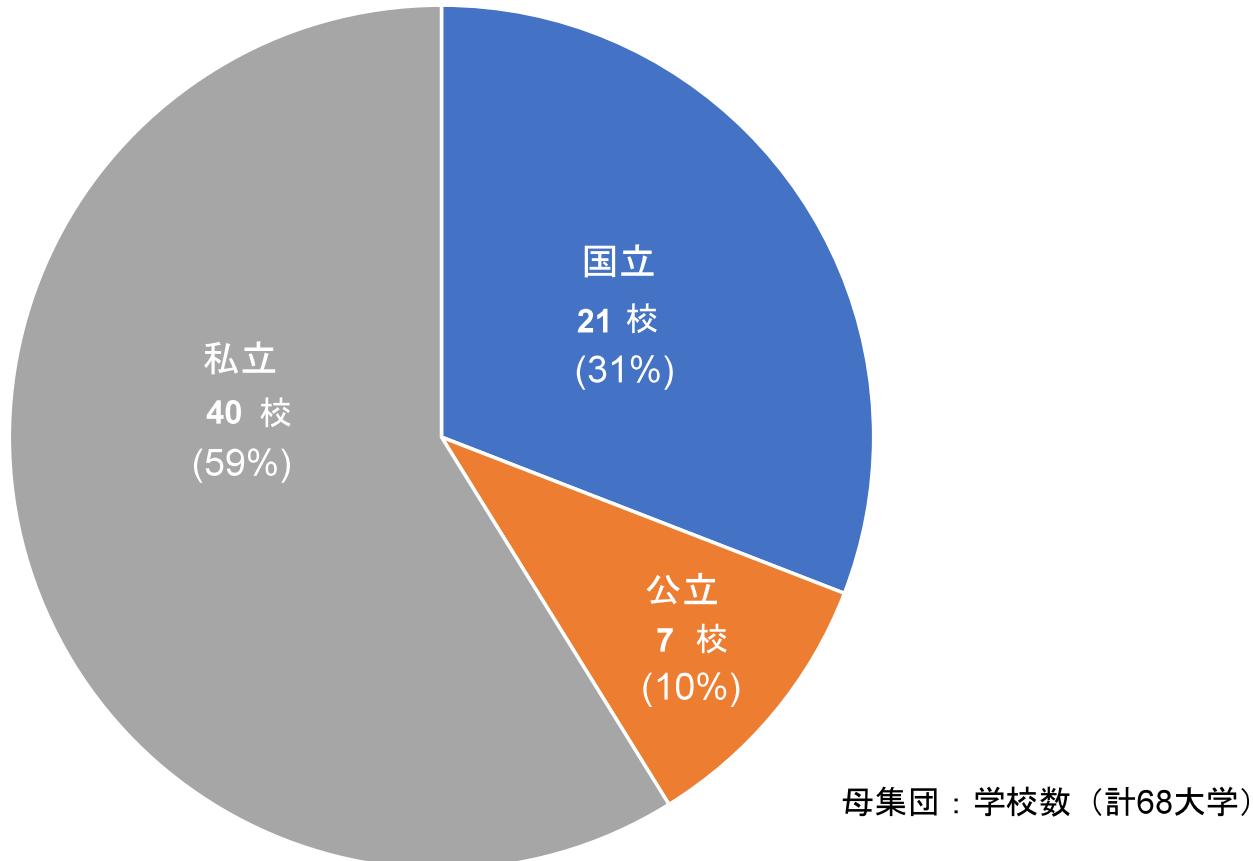
- 【注】
- ・日本の学校の卒業生を対象としているものを記載（帰国生や留学生に対象を限定しているものを除く）
  - ・下線はIB資格取得者・取得予定者のみを対象とした入試を実施している大学
  - ・各大学へのアンケートに基づき文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム事務局にて作成したもので、必ずしも全ての情報を網羅しているわけではありません。（調査：令和3年1月時点）

# 2021年度IBを活用した大学入学者選抜に関する基礎調査



## IBを活用した入試を実施している大学

**【調査対象】**  
IBを活用した入学者選抜を実施している日本国内の大学 68校



調査時点においてIBを活用した入試を実施していると回答のあった大学は68校。  
内訳は国立21校、公立7校、私立40校となっている。

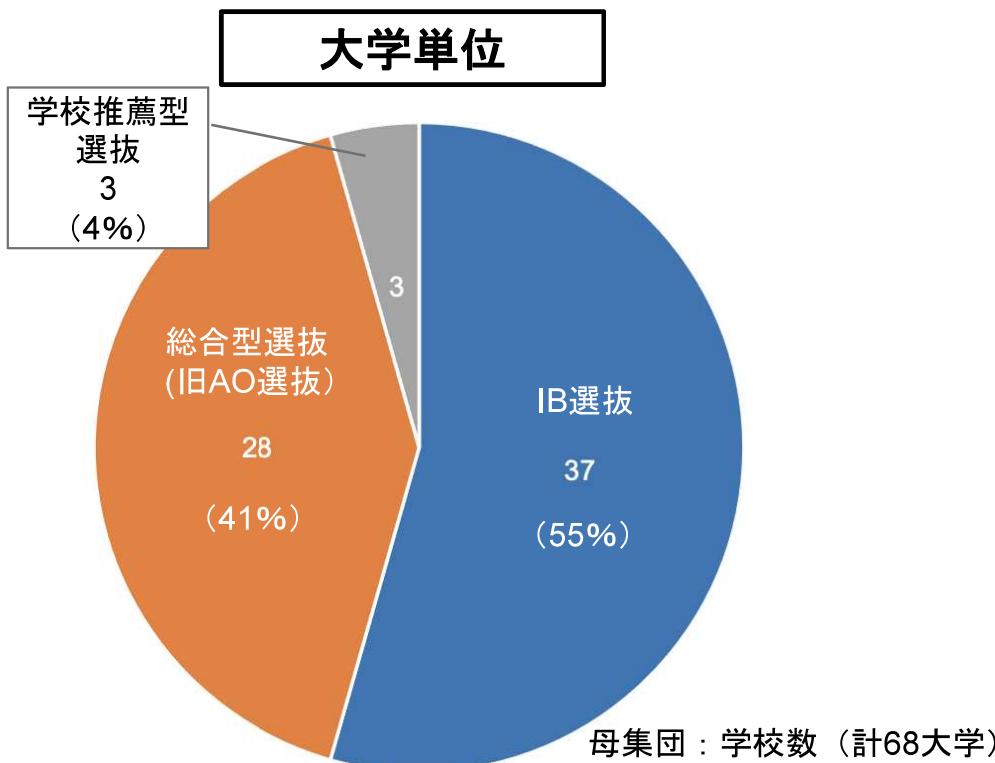
【調査実施主体】文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

# 2021年度IBを活用した大学入学者選抜に関する基礎調査

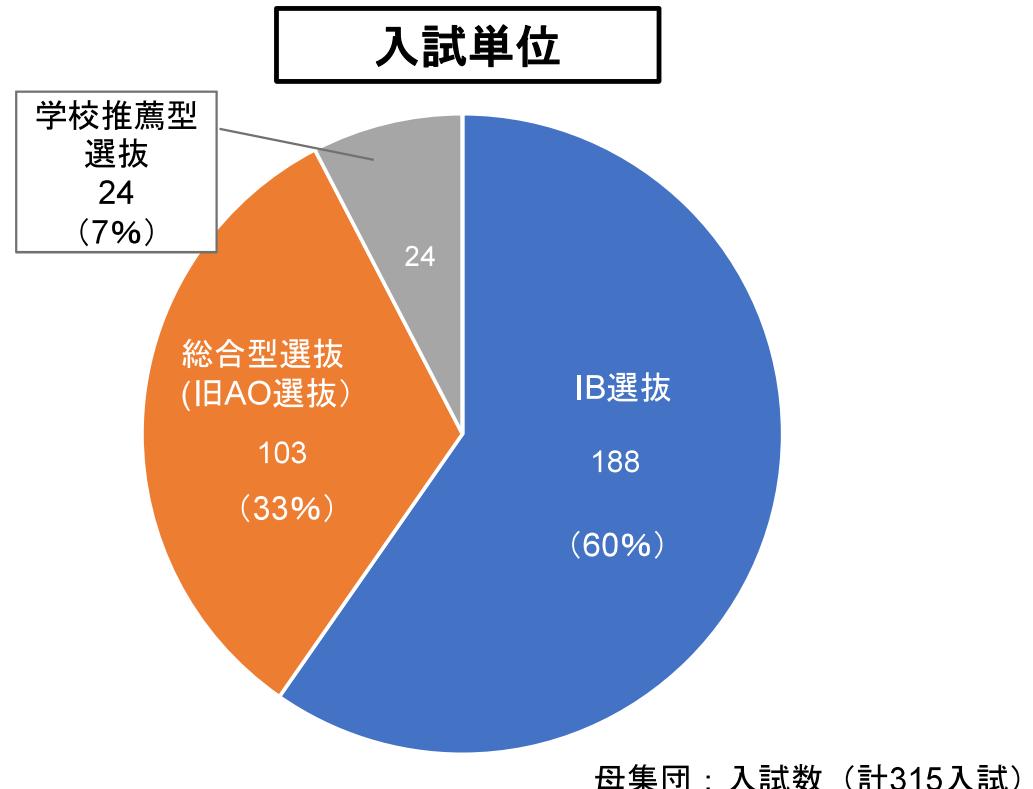


## IBを活用した入試種別

大学単位



入試単位

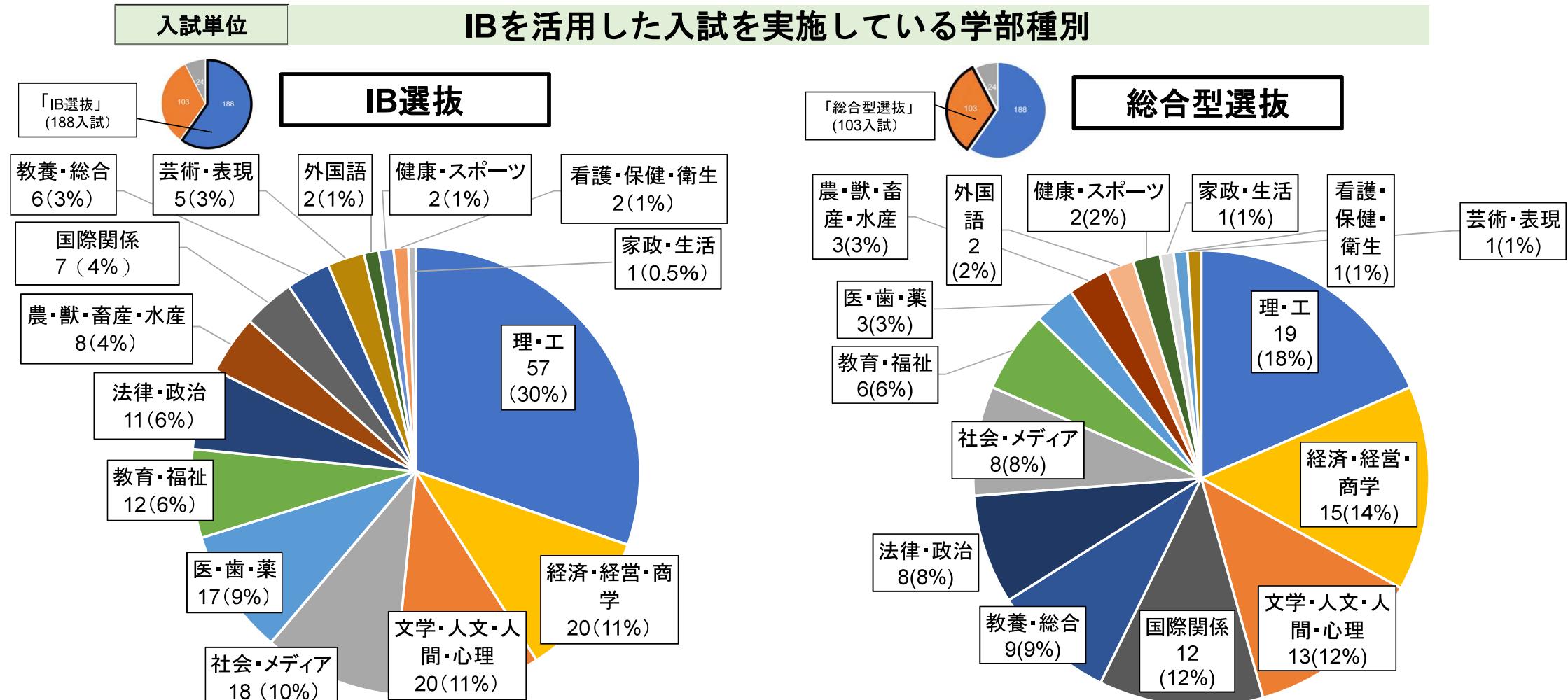


※IB選抜・総合型選抜両方実施している大学はIB選抜に計上している。

大学単位、入試単位で見ても「IB選抜」形式が最も多く、「総合型選抜（旧AO入試）」「学校推薦型入試」の順となっている。

【調査実施主体】文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

# 2021年度IBを活用した大学入学者選抜に関する基礎調査



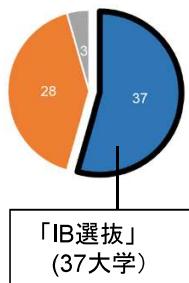
IB選抜、総合型選抜のどちらの区分でも、理・工系の学部において最も多く実施されている。

【調査実施主体】文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

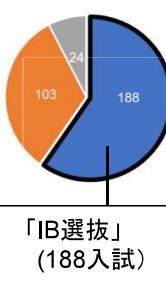
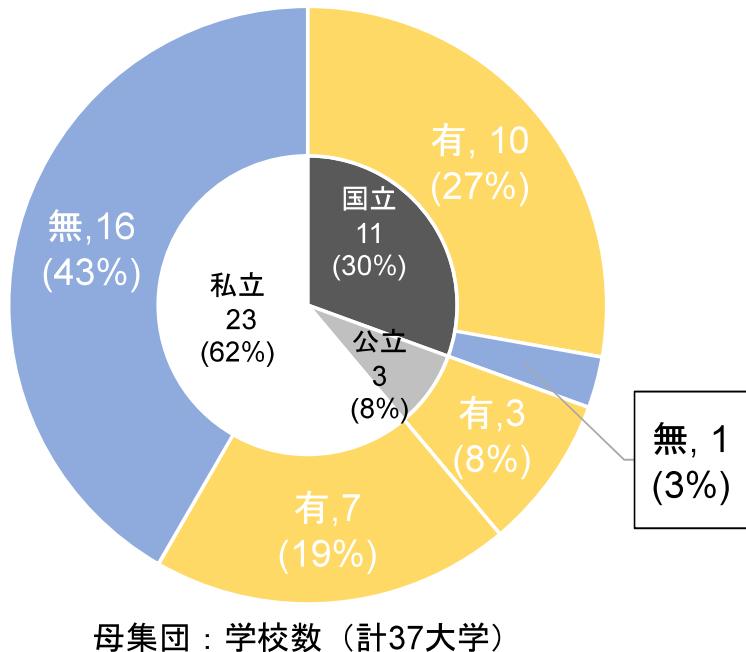
# 2021年度IBを活用した大学入学者選抜に関する基礎調査

大学単位

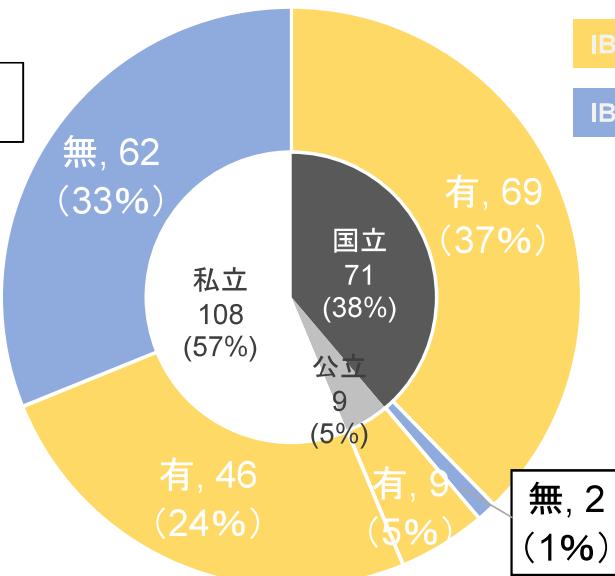
IBスコア基準の公表



大学単位



入試単位



IBスコア基準の公表：有  
IBスコア基準の公表：無

「IB選抜」入試において、国立大学の出願にIBスコア基準が公表されているものが特に多い。

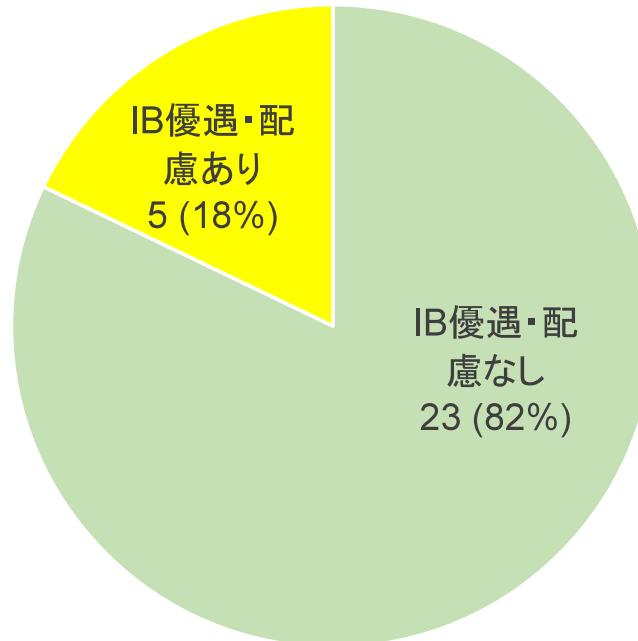
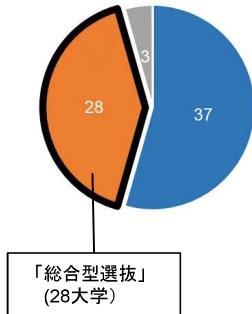
【調査実施主体】文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

# 2021年度IBを活用した大学入学者選抜に関する基礎調査



## 大学単位

## 「総合型選抜」におけるIB資格の位置付け



母集団：学校数（計28大学）

※IB優遇・配慮内容の例

- ・個別学力試験等の免除
- ・国際バカロレアの履修者は課題論文(EE)の写しを事前の課題論文として提出できること等

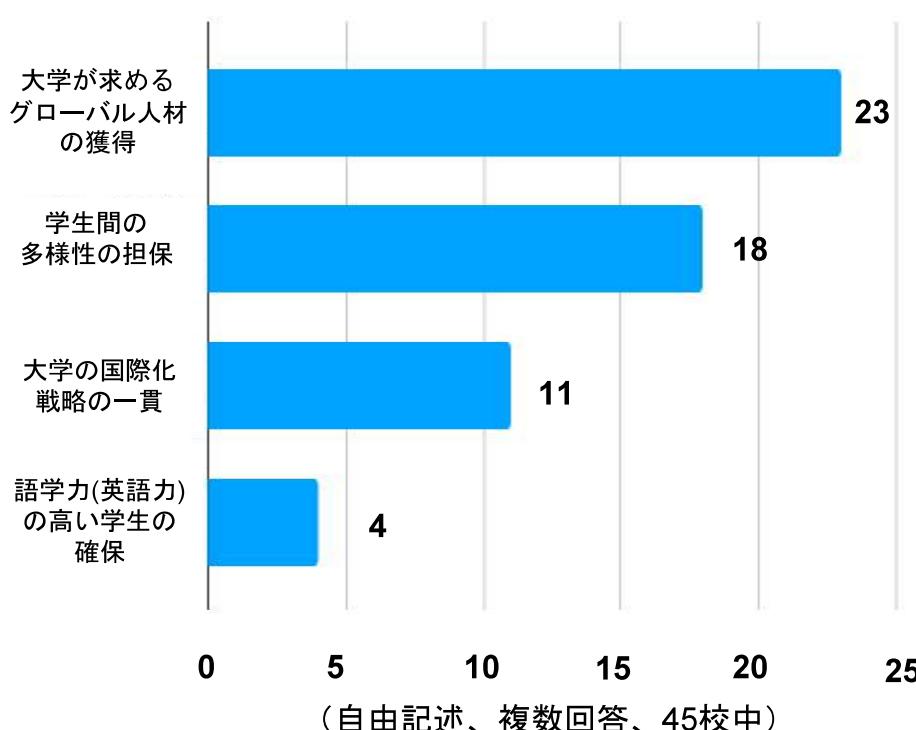
総合型選抜においてIB優遇・配慮のある大学は2割程度となっている。

【調査実施主体】文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

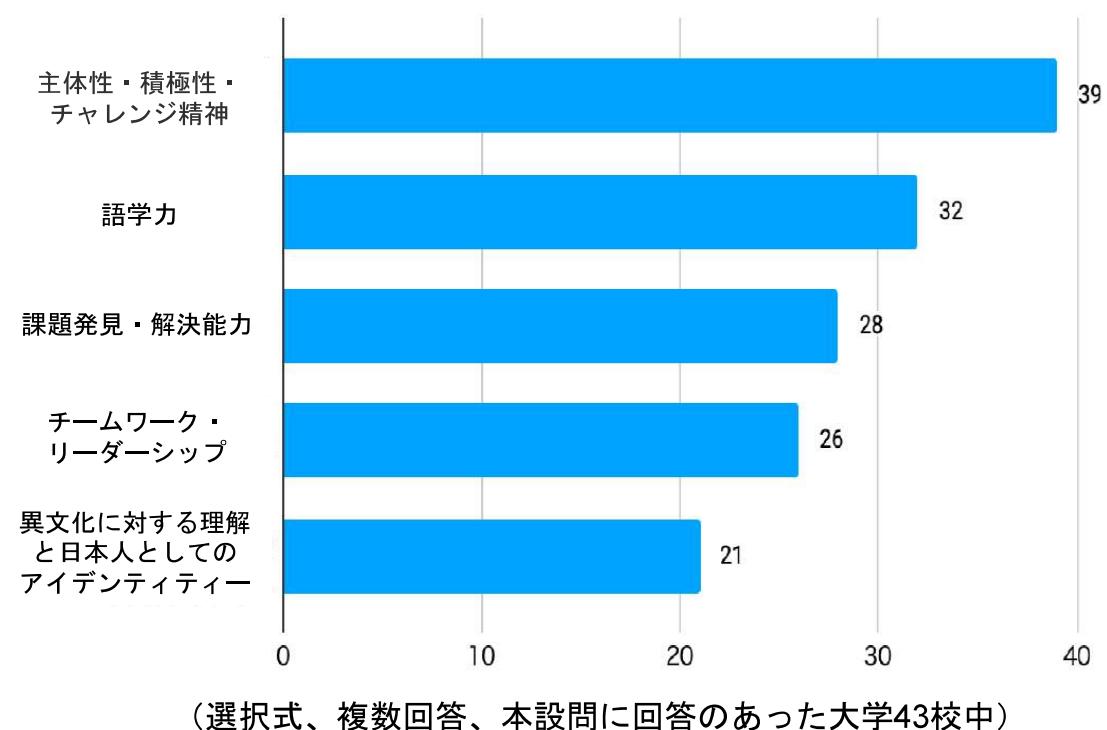
# 2021年度IBを活用した大学入学者選抜に関するアンケート調査



## IBを活用した入試を導入した目的



## IBを入試に活用する大学が期待するIB生の資質・能力



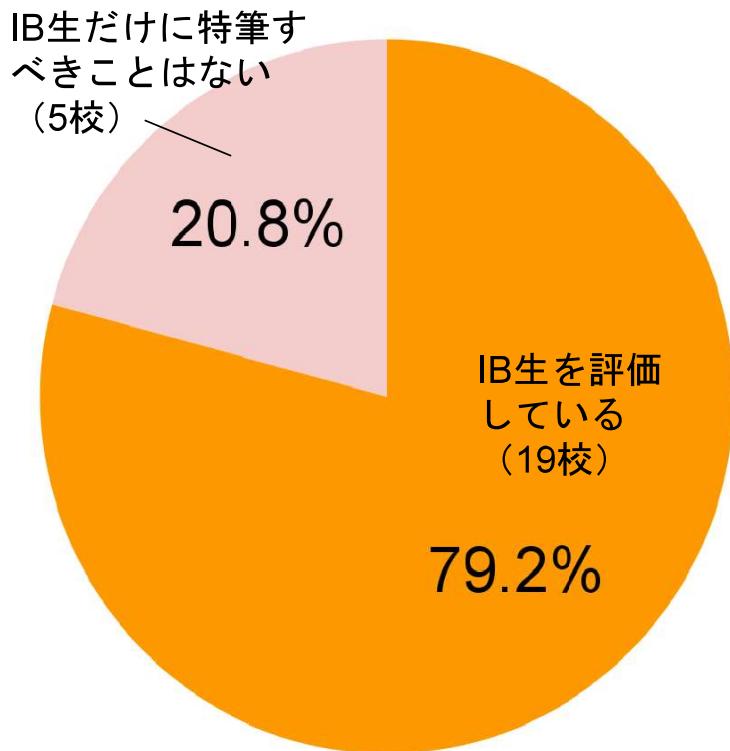
【調査対象】IBを活用した入学者選抜を実施している日本国内の大学68校  
【有効回答数】45校

【調査実施主体】文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

# 2021年度IBを活用した大学入学者選抜に関するアンケート調査



## 入学後のIB生に対する大学側の評価



(本設問に回答のあった24大学中)

### コメント抜粋

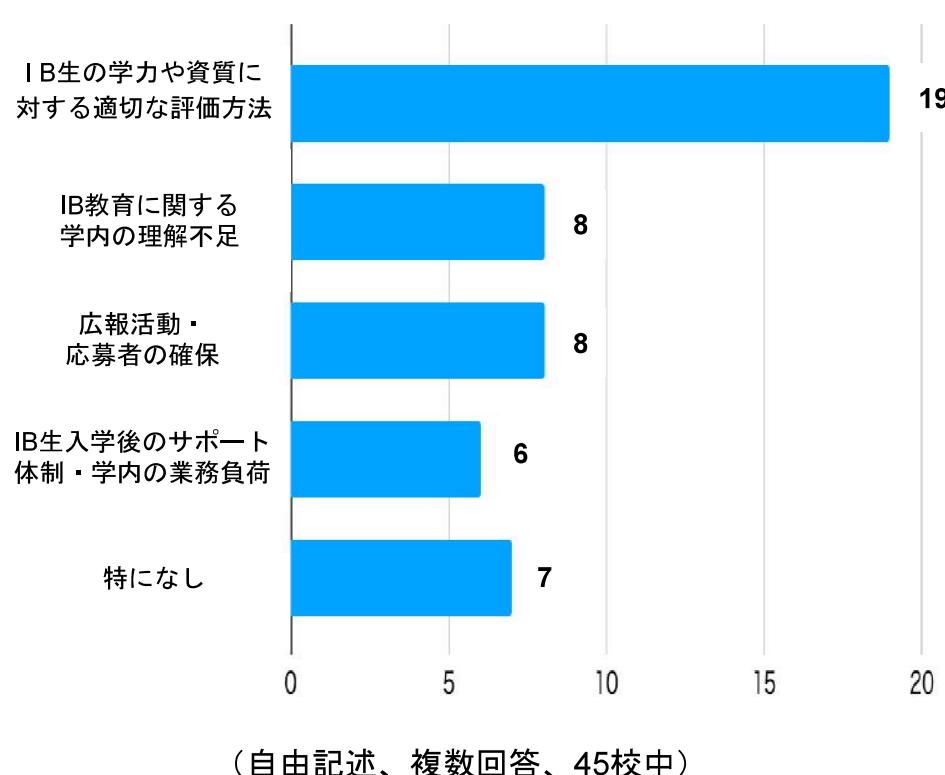
- ・IB生のGPA平均が高く、熱心に学業に取り組んでいる様子が伺える。
- ・他の学生にもとても良い影響を及ぼしていると感じている。特に、グループワークやディスカッションを伴う授業の中心として活躍している学生が多く、IB生として培われた能力を発揮していると思われる。
- ・語学力に加え、主体性、積極性、リーダーシップがあり、非常に優秀である。
- ・優秀な成績を収めている。又、インターンシップや交流活動に積極的に参加し、様々なことにチャレンジしたい様子が見受けられる。その積極性とチャレンジ精神が周囲の学生にも刺激を与えることを期待している。

【調査実施主体】文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

# 2021年度IBを活用した大学入学者選抜に関するアンケート調査



## IBを活用した入試導入時の課題



## IBを活用した入試導入時の課題へのアプローチ

### IB生の学力や資質に対する適切な評価・評価方法

- 既にIB入試を導入し入学者受入れ実績のある国立大、医学部志望者を持つインターナショナルスクールへの視察を繰り返し、双方の視点からの情報を積極的に収集することで、現在の出願要件、選抜方法を確立した。
- 複数のIB校のIBコーディネーターや進路指導の先生方と面談を行い、さまざまな意見を頂くことで、入試の実施方法を決定することができた。
- 外国語担当の教員を中心に議論し、設定している。
- 科目や成績、評価基準の決定が課題となつたが、それらを学類ごとに設定することで解決した。

### IB教育に関する学内の理解不足

- 教員向け研修会を開催したり、入試に関する委員会等で情報提供を行っている
- IB関係の説明会への参加、インターナショナルスクール関係者へのヒアリング等を行った。

### 広報活動・応募者の確保

- 日本国内のIB認定校が多くないため受験者が見込めないことが懸念されたが、今後さらに認定校が増加することを期待している。
- IB認定校に対してチラシを郵送したほか、東京及び近郊のIB認定校へ出張して本入試の説明を行った。

### IB生入学後のサポート体制・学内の業務負荷

- 入学後の対応としては、当該入試による入学者に対して入学後1年間メンターを配置し、学生からの様々な相談にのり、必要に応じて入試課やクラス担任、ラーニングサポート部門等を交えて対応することとしました。

【調査実施主体】文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

# 2021年度IBを活用した大学入学者選抜に関するアンケート調査



## IBを活用した入試制度を設計する際に工夫・留意した点

### 入試運営について

#### 【日程】

- 受験生の属性に応じて、入試の実施時期を複数回設けるなど、受験生目線で出願しやすいスケジュールで入試制度を設計した。

#### 【対象者】

- 他大学等で実施されているIB入試ではDP取得（あるいは取得見込み）を出願要件としているが、本学域ではフルディプロマを取得できなかった場合でも出願できることとした。また出願に関して、IB科目の指定や成績のレベル設定も導入していない。

さらに、第1次募集3名、第2次募集2名の募集定員を設けた。

#### 【対象学部】

- 国際系学部のみではなく、全学部を対象に実施している。

#### 【試験内容】

- 一般入試の生徒とカリキュラムが違う中で、IB生はどのような位置づけにあるのか理解して入試の設計をする必要があった。

### 考查内容について

#### 【学力考查全般】

- 小論文と面接による試験で、多面的・総合的に評価・判定するようにしている。
- 試験のほかに（高校在学時の）成績評価も配点に加算することにした。
- IBスコアの基準をあえて設定せず、かつ面接を実施することにより、スコアだけではなく、IBプログラムを通した学びのプロセスを重要視しているというメッセージを示した。

#### 【語学力】

- 既存の選抜方式と同様な英語資格の要件設定や評価方法（筆記試験・面接等）を取り入れる事により、判断基準の比較が可能なようにしています。

【調査実施主体】文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

# 日本のIB履修生の成績送付先大学（2015年-2019年）



IB スコアが入学審査の対象となり出願要項に指定されている場合には、生徒は大学出願の際にInternational Baccalaureate Information System (IBIS)を通して各大学に最終成績の通知を行う。(大学に成績を送付後、実際には出願しない場合もある)

2015-2019 日本のIB校(インターナショナルスクール含)から日本を含む世界の大学への成績送付先(10通以上の大学のみ抽出)

	国	大学等名	送付数
1	イギリス	Universities and Colleges Admissions Service (UCAS)*	350
2	日本	上智大学	318
3	日本	早稲田大学	244
4	カナダ	The University of British Columbia	212
5	日本	国際基督教大学	196
6	カナダ	University of Toronto	121
7	日本	慶應義塾大学	97
8	日本	岡山大学	91
9	オーストラリア	The University of Melbourne	84
10	日本	法政大学	59
11	カナダ	McGill University	58
12	オーストラリア	The University of Sydney	54
12	オーストラリア	The University of Queensland	54
14	アメリカ	Northeastern University	48
15	オーストラリア	Monash University	46
16	日本	慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス	43
16	シンガポール	National University of Singapore	43
16	アメリカ	New York University	43
19	日本	大阪大学	41
20	オーストラリア	The Australian National University	40
21	オーストラリア	Universities Admissions Centre (UAC, NSW & ACT)*	39
22	日本	Temple University Japan Campus	38
23	香港	The Hong Kong University of Science and Technology	36
24	日本	鹿児島大学	35
25	日本	立命館大学	32
25	アメリカ	University of Washington - Seattle	32
27	日本	北海道大学	31
28	イギリス	University College London	30
28	アメリカ	University of California - Berkeley	30
30	イギリス	King's College London	29
30	香港	The University of Hong Kong	29
32	アメリカ	Boston University	28
33	オーストラリア	The University of New South Wales	27
34	日本	筑波大学	25
35	オランダ	University of Amsterdam	24
36	イギリス	Imperial College London	23
36	日本	名古屋大学	23
36	日本	東京大学	23
36	オーストラリア	Victorian Tertiary Admissions Centre*	23
36	日本	横浜市立大学	23
41	日本	広島大学	22
41	アメリカ	Knox College	22
43	日本	同志社大学	20
43	日本	明治大学	20
43	アメリカ	University of California - San Diego	20
43	カナダ	University of Waterloo	20

	国	大学等名	送付数
47	シンガポール	Nanyang Technological University	19
47	カナダ	University of Alberta	19
47	イギリス	University of St Andrews	19
50	アメリカ	Purdue University - West Lafayette	18
50	オーストラリア	Queensland University of Technology	18
50	イギリス	The University of Edinburgh	18
53	日本	立命館アジア太平洋大学	17
54	アメリカ	University of Southern California	16
55	韓国	Seoul National University	15
55	カナダ	Simon Fraser University	15
55	アメリカ	University of California - Los Angeles	15
58	香港	The Chinese University of Hong Kong	14
58	オーストラリア	The University of Adelaide	14
58	イギリス	The University of Manchester	14
58	イギリス	University of Warwick	14
62	日本	国際教養大学	13
62	アメリカ	Brown University	13
62	アメリカ	Chapman University	13
62	オランダ	Leiden University	13
62	アメリカ	University of California - Davis	13
62	イギリス	University of the Arts London	13
62	カナダ	York University	13
69	アメリカ	Cornell University	12
69	UAE	New York University Abu Dhabi	12
69	アメリカ	University of California - Santa Cruz	12
69	オランダ	University of Groningen	12
69	カナダ	University of Victoria	12
74	オーストラリア	Macquarie University	11
74	アメリカ	Middlebury College	11
74	オーストラリア	South Australian Tertiary Admissions Centre*	11
74	ドイツ	Uni-Assist*	11
74	オランダ	Maastricht University	11
74	アメリカ	University of Illinois Urbana-Champaign	11
80	韓国	Korea University	10
80	イギリス	London School of Economics and Political Science	10
80	オーストラリア	Queensland Tertiary Admissions Centre*	10
80	アメリカ	Savannah College of Art and Design	10
80	アメリカ	Stanford University	10
80	日本	東京大学 駒場キャンパス	10
80	イギリス	University of Bristol	10
80	イギリス	University of Exeter	10
80	アメリカ	University of Oregon	10
80	アメリカ	University of Pennsylvania	10
80	オーストラリア	The University of Western Australia	10
80	アメリカ	Wesleyan University	10
80	アメリカ	Yale University	10

<国別の合計>

国	大学等数	送付数
日本	22	1421
イギリス	12	540
カナダ	8	470
オーストラリア	14	441
アメリカ	23	417
香港	3	79
シンガポール	2	62
オランダ	4	60
韓国	2	25
UAE	1	12
ドイツ	1	11

\*大学への出願を仲介する機関。各機関を通じて出願する場合と大学に直接出願する場合がある。

## 大学入試でのIBの活用促進

(国公立学校の視点から)

2022.11.24



東京学芸大学附属国際中等教育学校  
校長 萩野勉

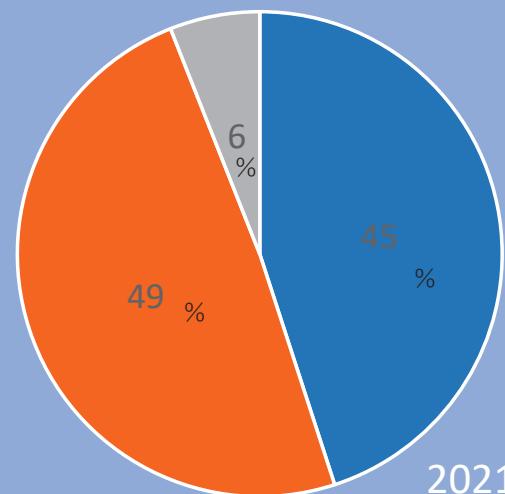


## 進路に関する本校の状況 (DP生を含む学校全体)

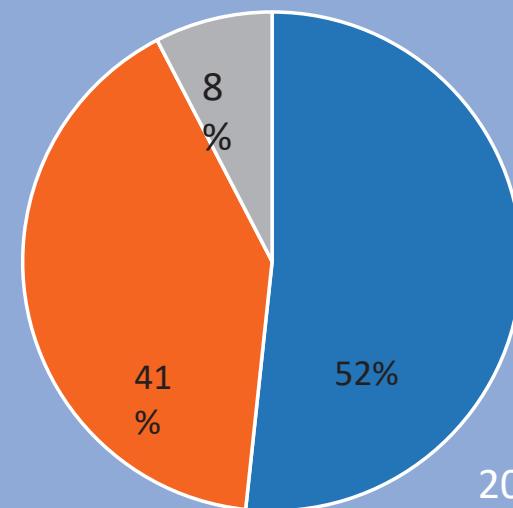
### 帰国生徒・外国籍生徒の割合

- ・入学時 30%程度
- ・6年生 45%程度

### 過去2年間の入試形態別進学実績



2021年3月



2022年3月

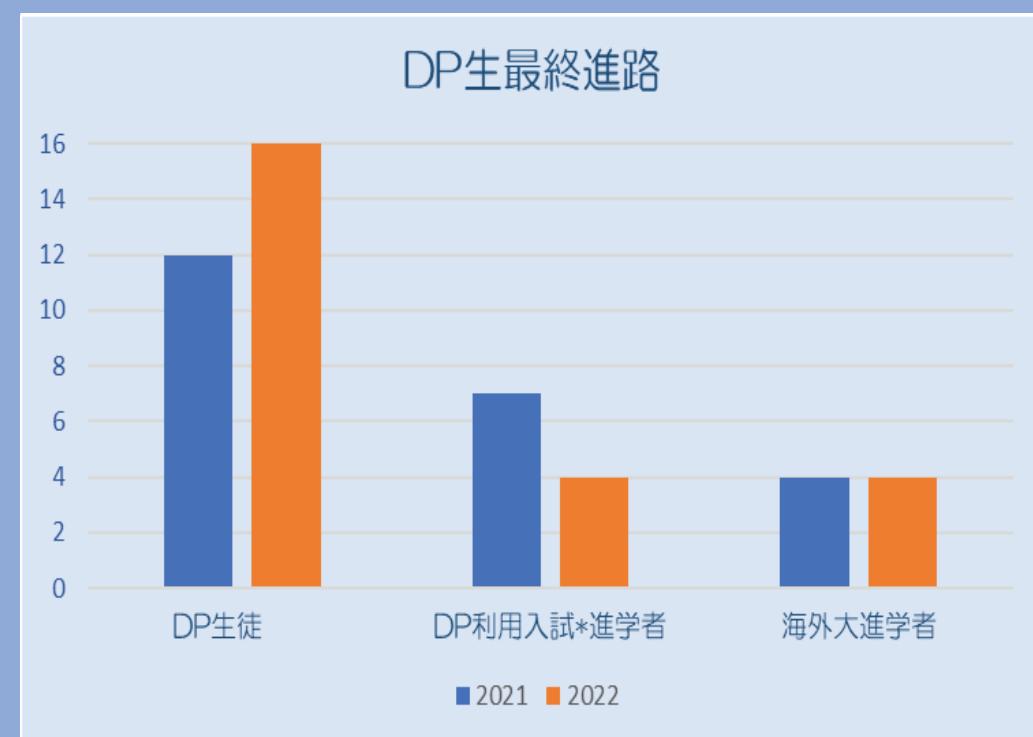
### IB認定

- ・ 2010年 国際バカロレア中等教育プログラム(MYP)認定
- ・ 2015年 国際バカロレアディプロマプログラム(DP)認定 (2018年3月に最初の卒業生)

# 過去2年間の本校DP生の DP利用入試\*(IB入試)・海外大受験状況と最終進路

	2021年 3月	2022年 3月
DP生徒	12	16
DP利用入試利用者	8	10
DP利用入試受験校(延べ)	17	14
DP利用入試による進学者	7	4
海外大受験者	5	7
海外大受験校(延べ)	13	25
海外大進学者	4	4
国内大海外大進学者	3	2
全受験に占めるDP利用入試利用の割合	32.1%	17.3%

\*「DP利用入試」…本校の呼び方で、DPが受験資格のひとつとなっている総合型選抜および学校推薦型選抜。便宜上、次ページ以降、DP利用入試のことをIB入試と記す。



# 海外大学進路指導体制

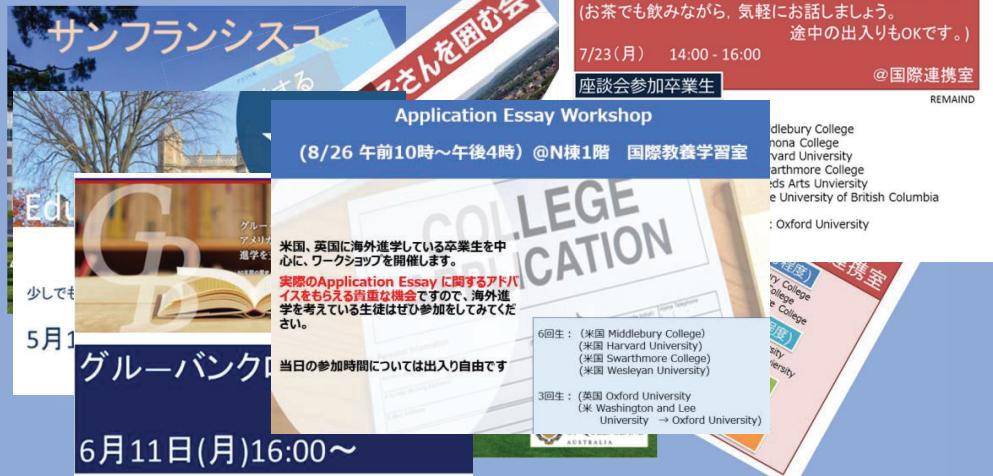
## 組織

- ・学校経営計画への明確な位置づけ

「北米・欧州・アジアオセアニアの海外大指導力の組織的強化と奨学金獲得支援」

- ・進路指導部内に「海外大学指導担当」(外国人教員・DPコーディネーターを含む5名)  
役割 ①進路説明会 ②出願サポート
- ・スタッフ職として「海外大学アドバイザー」(2名)  
役割 ①クラス担任への指導助言 ②生徒へのアドバイジング

## 進路説明会



## 出願サポート

- ・エッセイ作成指導など海外大進学卒業生とのマッチングサポート(1,2学期)
- ・奨学金出願サポート(1,2学期)
- ・web出願サポート(2.3学期)

# 高校側から見たIB入試の課題

過去2年間のDP生は28名 → ○IB入試を中心に受験した生徒は3名 ○IB入試を全く受験していない生徒は12名



生徒にとって受験しやすい入試とはなっていない

## ○ あくまでも「条件付き合格」であること

★Diplomaを取得しても、最終結果がPredicted Grades(PG)を下回ることがあつたら、どうなるのかへの不安

★一般的な総合型選抜が学校の1学期の成績(仮評定)で判断され合否が確定するのに、世界標準とも言えるIBのPGは、なぜ理にかなった扱いを受けないのか  
→ PGのみで合格の確定

## ○ 出願準備のためにDP最終試験に専念できない

★(IB入試)英語運用能力のスコア・TOK/EE/CASの要約など海外大出願に比べて提出しなくてはならない課題が多い

★他の総合型選抜を受験する生徒にとっては、受験準備に更なる負担増・中には一般選抜をする生徒も  
(背景) PGに係る不安、入りたい大学学部にIB入試がない、時には総合型選抜すらない  
→ ○IB入試の拡大と出願課題の簡素化 ○アメリカのコモンアプリのような大学共通出願システムの整備

# 高校側から見た海外大進学の困難さ

## ○ 学費の高さ

★本校が通常活用している奨学金は①JASSO ②柳内財団 ③グローバンクロフトで、あわせて毎年4～5名の採用があるが、毎年10名前後いる海外大進学者の希望には十分応えられていない。

★海外大に合格したものの奨学金等が得られなかつたために進学をあきらめたDP生も複数いる。  
→ 海外大向け奨学金の充実

## ○ 海外進学指導力の獲得と継承

★一般的な学校の海外進学指導力は途上にあり、保護者が独自に留学カウンセラーを子どものために雇っているケースや学校が大手情報出版社の留学情報サービスに業務委託するケースなどがある。

★最初の海外大進学者を出すまでがきつい。(出始めると、指導のポイントが見えてくるし、海外大に進学した卒業生から情報が入ったり、協力が得られる。また実績のある海外大も情報や相談の機会を与えてくれるようになる。)

★ノウハウが学校の大きな財産となるためか、他校と共有することをためらうケースもある。

★英語のできる人材に指導を依存してしまうと指導力の組織的育成や継承ができにくくなる。

→ ○人材が育つまでの留学カウンセラーの活用 ○学校を超えた海外大進学情報バンクなどの基盤づくり  
○英語通訳の活用

2022年11月24日13:00-16:00

国際バカロレアの普及促進に向けた検討に係る有識者会議(第2回)

# IB生の進路の多様化のために

Meikei High School - IB World School

**松崎秀彰 | Hideaki Matsuzaki**

入試部長 / **Head of Admissions**

DPコーディネーター / **IBDP Coordinator**

文部科学省**IB**教育導入サポート / **MEXT IB Supporter**

**IB**教員研修講師 / **IB Workshop Leader**

**IB**校認定訪問リーダー / **IB School Visit Team Leader**

**IB**校認定コンサルタント / **IB Consultant**

**IBDP**採点官 / **IB DP Examiner**



茗溪学園中学校高等学校

# 科目選択と進路

興味のある科目を選択し、得意な科目をHL(発展レベル)に

▼  
「日本語DP」  
は不利にならない

海外大学出願・受験の際、2科目英語受講・他はすべて日本語で受講でも全く不利にはならない

## 科目選択

国内大学：文系は社会のHL、理系は理科や数学でHL科目が必要  
海外大学：生物・物理の選択・理科2科目の選択

▼  
文系か理系か

理科HLを1科目履修していれば文系・理系どちらも対応可能。(日本の履修課程より柔軟)

## 国内大学入試

大学選択は狭くなる  
理系は私立理系IB入試の少なさと国立大学のIB入試の厳しさがあり、より困難

# IB生の進路概要(進学先)

国内大学に文系志向・海外大学に理系志向の傾向あり

1 1期生

2020年3月卒

国内大学

文系8名 理系0名

8名

海外大学

文系1名 理系4名

5名

2 2期生

2021年3月卒

国内大学

文系6名 理系2名

8名

海外大学

文系1名 理系3名

4名

3 3期生

2022年3月卒

国内大学

文系5名 理系0名

5名

海外大学

文系3名 理系8名

11名

4 合計

2020年～2022年

国内大学

文系19名 理系2名

21名

海外大学

文系5名 理系15名

20名

# IB生の進路指導

先生も生徒も「初めてを恐れない」「とにかくやってみる」マインドが必要

1

## 国内大学

### 総合型・学校推薦型選抜

- ・“IB受講”だけでは「実績」として強くなさそう
- ・小論や面接では力を発揮しうる
- ・TOEFL/IELTSもあるとよい
- ・国内IBで「帰国生入試」出願可能なこともあります

### IB入試

- ・大学によりIBへの評価や捉え方が異なる
- ・私立大学は文系学部が中心
- ・国公立も併願可能だが準備は大変(推薦状も)
- ・定員枠が少ないので「運」も大きい?

※IB生の進路指導は日本の大学の進路指導の経験のある教員2名が海外大学進学指導も担当

2

## 海外大学

### 出願について

- ・各大学のHPやCommonApp(US)/UCAS(UK)/OUAC(トロント)から
- ・出願料安価(例:UCAS約4000円で5校出願可能)
- ・オーストラリア・カナダはスコアのみで出願可能な大学も多い・US / UKは教員の推薦状が必要
- ・生徒と一緒に学ぶ・やってみる姿勢(留学業者・企業を通さずとも大丈夫)

### 奨学金

- ・合格と一緒に大学から奨学金のオファーもあり
- ・JASSO他、日本国内の留学生向け奨学金
- ・学費の印象は US・カナダ > UK > AUS > EU

# IB生の進路の多様化のために

IBを知ってもらい・活かしてもらい・正しく評価してもらうことが必要

1

## 国内大学

### IB生を活かしてもらう

- ・入学したIB生を大学で活用していただく  
総合型選抜生などと共に・ex)新入生親睦企画
- ・IBでの学びを同級生に共有してもらう  
ディスカッションからの学び・奉仕的活動等

### IB生を評価してもらう

- ・IBスコアが持つ意味の共有
- ・日本のカリキュラムとの違いの共有
- ・世界の大学の評価方法の活用

2

## 海外大学

### 高校での指導・情報

- ・生徒の希望を基に調べる→情報を蓄積
- ・推薦状・志望理由書添削
- ・成績証明書(GPA計算)・IB予測スコア証明書作成
- ・タイムライン+生徒の希望の把握と面談
- ・ランキングにとらわれない・自分なりの選択を
- ・国内大学からの交換留学という選択もあり

### 奨学金

- ・ヨーロッパやアジアなどの学費の高くない大学
- ・オーストラリアも学費に幅があり・奨学金も
- ・学部留学の奨学金が増えるとよいです。



## IB生の進路の多様化のために 学び方のデザインと選択



### IBで学びたいという意欲・IBという学びの選択肢

- ▶ 生徒本人にIBで学びたいという強い意欲がないと成り立たない学び  
IBが日本の課程より優れている訳ではなく、選択肢があることが大切

### 「学び方を学ぶ」・「学び方を選ぶ」IB生

- ▶ 学習者像・ATL・言語化・多様な視点・概念・教科横断等の「学び方」  
世界の大学も含めて、学びの内容や方法を吟味し「選択」するIB生

### IB生の学びを社会に活かす

- ▶ 自分の「選択」が自分の人生や社会を変えられると考えているIB生  
より多様な「選択」で大学とIB生の互いの理想の学びのマッチングを

ありがとうございました。

お問い合わせ：

茗溪学園中学校高等学校 松崎秀彰 ( [mats@meikei.ac.jp](mailto:mats@meikei.ac.jp) )

MEIKEI HIGH SCHOOL - IB WORLD SCHOOL



# 国際バカロレア（IB）を活用した 大学入学者選抜

東北大學の例

東北大學副學長  
山口昌弘



## ① 国際学士コース(Future Global Leadership)入試におけるIB活用

2011年度導入

外国人留学生受入プログラム(10月入学)

## ② 国際バカロレア入試

2017年度導入

特別選抜入学試験(特別選抜)の一つとして実施

10学部中7学部で実施(4月入学)



- 本学では、英語により学士の学位が取得できる国際学士コース(Future Global Leadership: FGL undergraduate course)を、理学部・工学部・農学部の3コースで開講している。
- 入試選抜において、出願資格及び出願要件で国際バカロレアを活用している。

## 1. FGL出願資格

以下(A) (B) (C)いずれも満たす者とする。

- (A) 原則として日本国籍を有しない者（永住許可者含む）  
 (B) 日本の学校の教育歴が6年以下の者  
 (C) 以下のいずれかに該当する者  
   1) 外国の学校教育12年の課程を修了した者  
   2) **IB又はアビトゥア、GCE-Aレベル資格を有する者**  
   3) 本学の個別の入学資格審査により認められた者

## 2. IB出願要件

以下(A)-(D)いずれも提出すること。

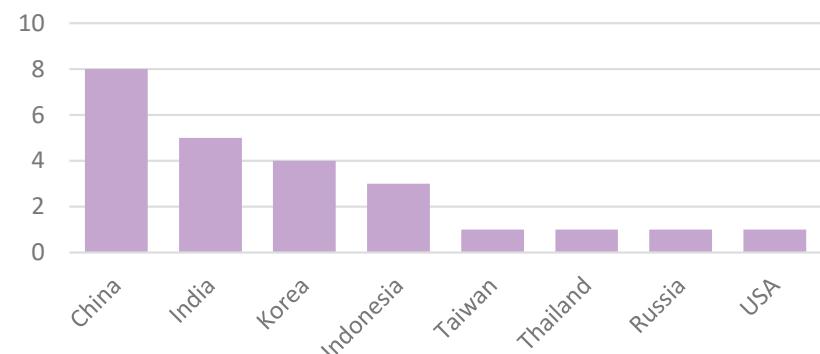
- (A)志願理由書  
 (B)高校成績  
 (C)TOEFL iBT®TEST又はIELTSスコア（一部英語圏は免除）  
 (D)**IB, SAT, GCE-Aレベル, EJUその他の統一試験スコア**



## 3. 出願状況 (2020-2022年度入試)

	出願者数	内 IB 提出者数		合格者数	内 IB 提出者数	
		内 IB 提出者数	内 IB 提出者数		内 IB 提出者数	内 IB 提出者数
2020年度入試	113	5	5	36	0	0
2021年度入試	110	11	11	37	5	5
2022年度入試	133	8	8	38	4	4
計	356	24	24	111	9	9

国籍別IB提出者数 n=24





導入の経緯	語学力、コミュニケーション能力、国際理解、論理的思考力、主体的学习態度等を養うことを目標とし、国際的にも評価を得ている国際バカロレア・ディプロマプログラム(DP)修了者は、本学が現在目指しているグローバルリーダー育成においても有望な人材として期待できる。またそのような学生が入学することによって、他の学生に対しても学修その他の諸活動において好ましい刺激を与えることが期待できる。
導入時期	2017 年度入試(薬学科は 2018 年度入試より)
入学時期	4 月入学 ※10 月入学は実施無し
実施学部	文学部・理学部・法学部・医学部医学科・薬学部・工学部・農学部
IBスコア	総合成績35点～38点以上(学部による)。その他学部により要件あり
募集人員	① 文学部・理学部・法学部・薬学部・工学部・農学部 : 各若干人 ② 医学部医学科:国際バカロレア入試・帰国生徒入試・私費外国人留学生入試で合わせて 3 名

実績	志願者数	合格者数	入学者数
合計人数 (2017~2022)	18	8	6

# 上智大学 国際バカロレア(IB)の入試活用とIB生に期待すること

高大連携担当副学長  
経済学部 経営学科 教授

西澤 茂

学事局 入学センター チームリーダー  
高谷 英克

FOR OTHERS, WITH OTHERS

## ■上智大学の特徴～ソフィア・グローバルワンキャンパス～

### 東京都心・ 四谷の総合大学

コンパクトな規模ながら、四谷キャンパスには人文・社会・自然科学系の9学部29学科すべてが集まっています。上智は「小さな総合大学」です。



### 国、地域、国籍を 越えた学習環境

世界各国から招聘した外国人教員や来日した留学生とともに学ぶ国際性豊かな環境が、多様な価値観や複眼的な思考力を育みます。

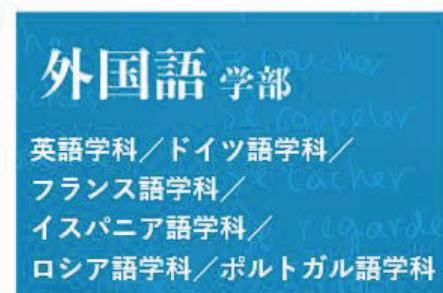


### 世界が直面する 課題に向き合う

教育精神「他者のために、他者とともに」に基づき、貧困や環境など現代世界の諸課題に立ち向かい、SDGsに関わるさまざまな取り組みを行っています。



## ■学部構成 9学部29学科



※国際教養学部は、すべての授業を英語で行う英語学位プログラム

## ■英語学位プログラム

### < 文系学部・コース >

#### 国際教養学部(Faculty of Liberal Arts)

- ▶ リベラルアーツによる教養教育と専門教育
- ▶ 専攻は3専攻の中から選択し、2年次後期から決定した専攻で学び、学位を取得

##### 1年次 2年次

- 専門的な学習に必要な  
英語運用力・分析力・論理的思考力の習得
- 専攻選択のための導入科目
- 英語以外の外国語習得

##### 3年次 4年次

- Comparative Culture[比較文化]
- International Business and Economics[国際経済・経営学]
- Social Studies[社会科学]
- 応用講座
- 専攻外科目の履修

専攻決定

#### SPSF(Sophia Program for Sustainable Futures)

- ▶ 持続可能な未来にアプローチするプログラム
- ▶ それぞれの専門分野を深めながら各学科の  
相互協力によって学際的な学びが可能

##### 所属学科

- 新聞学科
- 教育学科
- 社会学科
- 経済学科
- 経営学科
- 総合グローバル学科

##### 取得できる学位

- 新聞学
- 教育学
- 社会学
- 経済学
- 経営学
- 国際関係論、地域研究

SPSF  
共通科目  
+  
各学科の  
専門科目  
+  
他学科の  
授業履修

### < 理系学部・コース >

#### 理工学部 英語コース(Green Science and Green Engineering)

- ▶ 地球環境問題というグローバルな視点と思考が求められる分野にアプローチ
- ▶ グリーンサイエンス・グリーンエンジニアリングの2コース

## ■IB Diploma取得者を対象とした入試制度（英語学位プログラム）

### <国際教養学部 入学試験>

- ・入学時期：4月入学、9月入学
- ・募集時期：それぞれ年2回 4月入学（9月募集・12月募集）、9月入学（12月募集・4月募集）
- ・選考方法：出願書類に基づく書類選考型入試（筆記・面接試験なし）



2012年度入試から、IB Diplomaを要件に追加

### <導入目的>

- ・キャンパスのグローバル化推進を目的として、国籍問わず、世界中から多様な教育制度で学んだ入学者を受け入れたい

## ■IB Diploma取得者を対象とした入試制度（英語学位プログラム）

---

<理工学部英語コース入学試験> ※2015年度入試から新設

- ・入学時期：9月入学のみ
- ・募集時期：12月募集・4月募集の年2回
- ・選考方法：出願書類に基づく書類選考型入試（筆記・面接試験なし）

<SPSF入学試験> ※2020年度入試から新設

- ・入学時期：9月入学のみ
- ・募集時期：12月募集・4月募集の年2回
- ・選考方法：出願書類に基づく書類選考型入試（筆記・面接試験なし）

入試制度（選考方法・出願書類）は、基本的に国際教養学部入学試験と同様

※SPSF経済学科、理工学部英語コースは、IB必履修科目設定あり

## ■IB Diploma取得者を対象とした入試制度（日本語学位プログラム）

<国際バカロレア(IB)入学試験> ※2017年度入試から新設

国際バカロレア入試では、国内外から多様な人材を受け入れるため、IB Diplomaを取得済み、もしくは取得見込みの者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標を持って学ぶ意欲、語学力を含むコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜

### 【第1期募集】

国内外のインターナショナルスクールや海外IB認定校出身者または卒業見込みの者で、出願時にIB Diplomaを取得済み、もしくは取得見込みの者

### 【第2期募集】

日本におけるIB認定校で、学校教育法第1条に規定されている高等学校の出身者または卒業見込みの者で、出願時にIB Diplomaを取得済みの者

## ■IB Diploma取得者を対象とした入試制度（日本語学位プログラム）

### <国際バカロレア(IB)入学試験>

選考方法：出願書類による書類選考（第1期募集の一部学科のみ面接試験実施）

#### <出願書類>

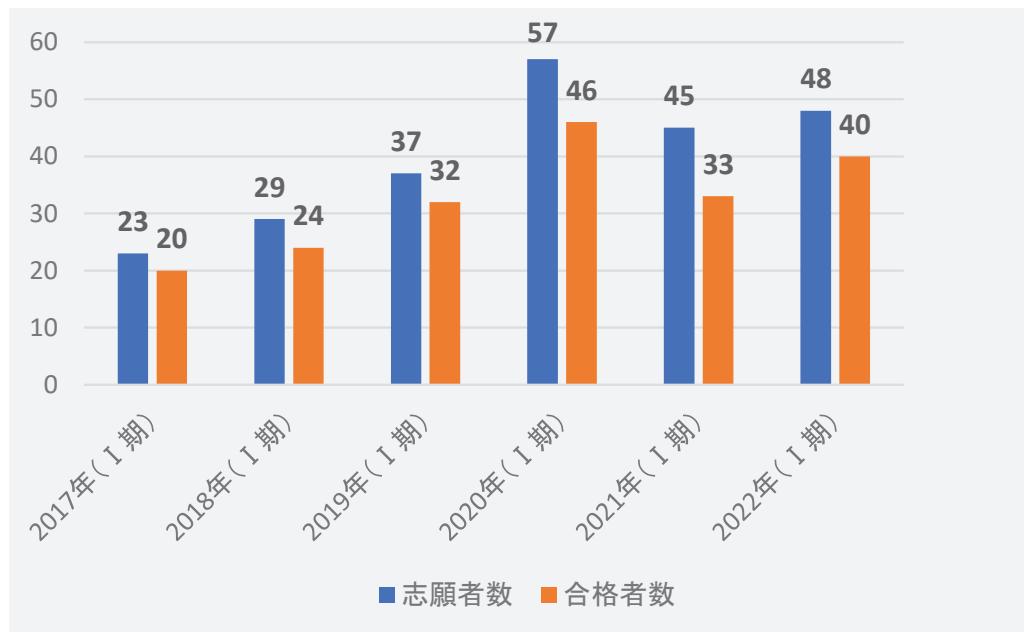
- ① IB Diplomaの成績証明書
- ② 高等学校の成績証明書（調査書）
- ③ 志望理由書
- ④ EEの要約・オリジナルの全文コピー
- ⑤ TOK・CASに関するレポート
- ⑥ 出身学校の教員からの推薦状2通
- ⑦ 事前課題レポート（一部学科のみ）
- ⑧ TOEFL®もしくはIELTSスコア（英文学科のみ）

IB Final Gradesだけでなく、IB教育プログラム（課題論文、批判的思考や幅広い知識の探究などの特色あるカリキュラム、双方向・協働型授業等）を通じて培った、主体性や思考力、明確な目標を持って学ぶ意欲、語学力を含むコミュニケーション能力など、教科学力以外の要素も重視して選考

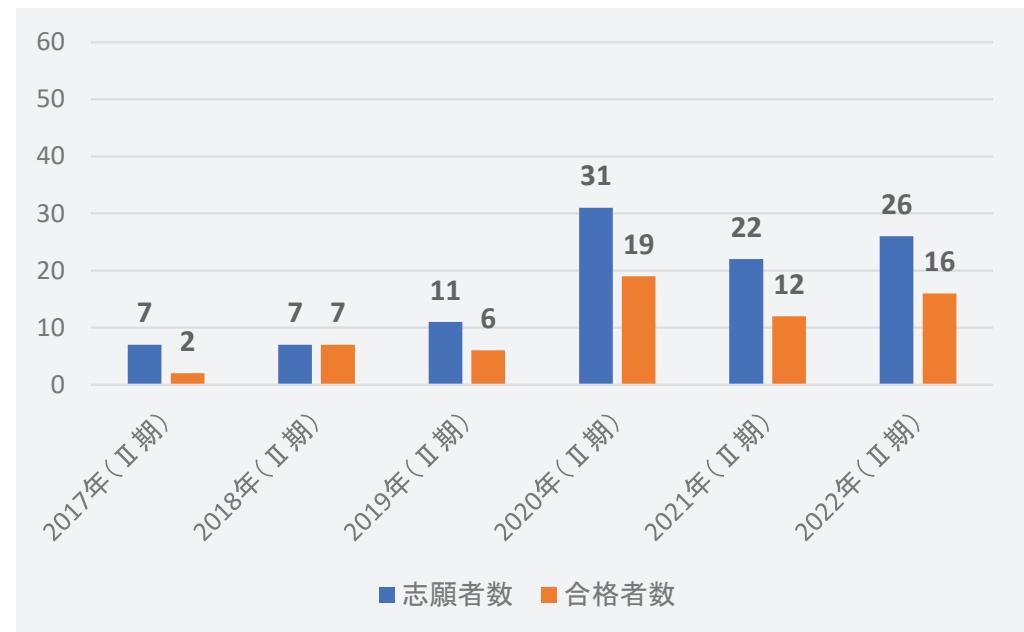
## ■IB Diploma取得者を対象とした入試制度（日本語学位プログラム）

### <国際バカロレア(IB)入試実績（2017～2022年度入試）>

第1期募集（1条校以外の国内外のIB認定校対象）



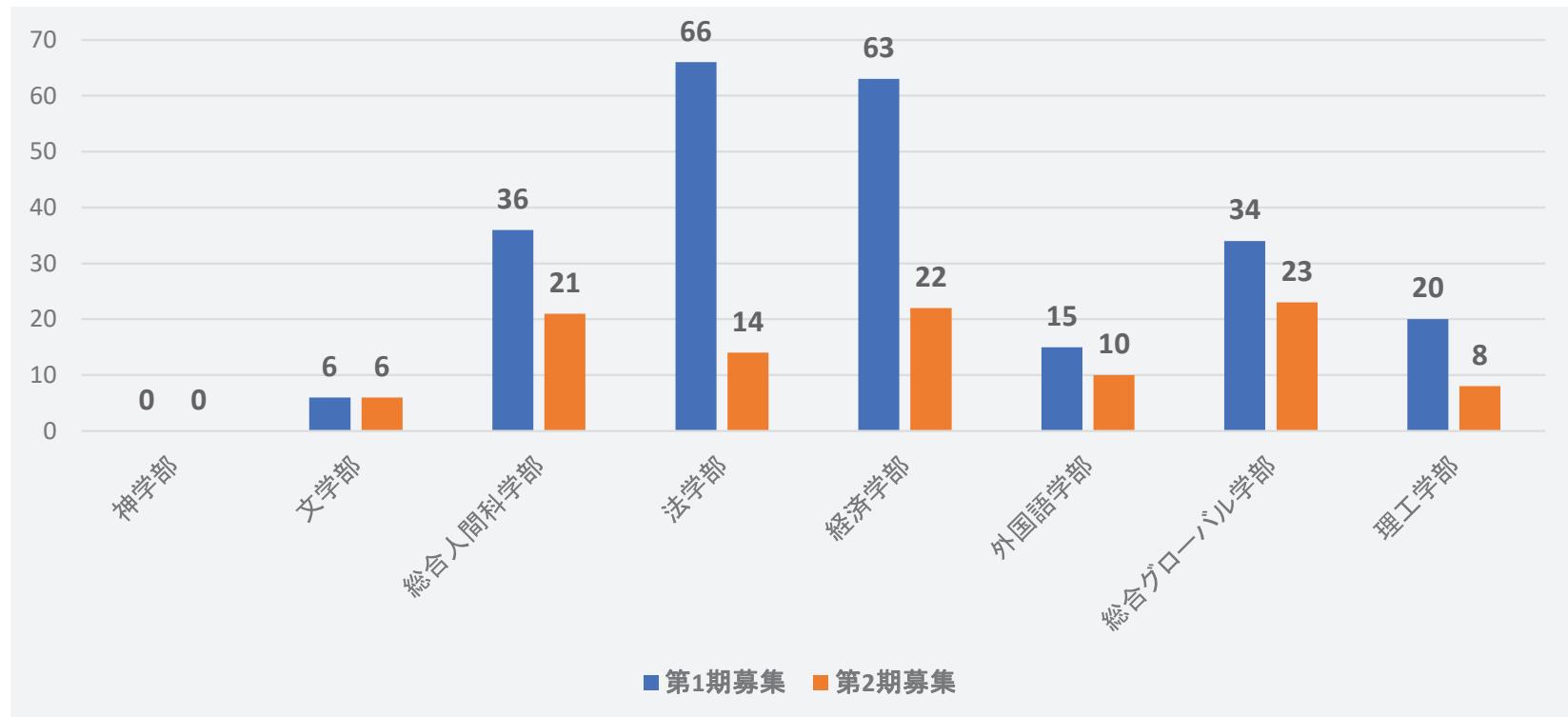
第2期募集（1条校のIB認定校対象）



2017年度の導入以降志願者増が続いていたが、新型コロナウイルスの影響で近年は若干の減少傾向

## ■IB Diploma取得者を対象とした入試制度（日本語学位プログラム）

<国際バカロレア(IB)入試の学部別志願者数（2017～2022年度入試累計）>



国内外のIB認定校（1条校以外）出身者：法学、経済学系統が非常に人気

1条校出身者：国際関係学、社会学、経済学系統が人気

## ■IB生に期待すること



IB教育プログラム、  
そして上智大学での学びを通じて、  
多角的な視座や国際通用性、創造性を身につけ、  
世界の福祉と創造的進歩に奉仕する、  
変革の担い手となってほしい



上智大学  
SOPHIA UNIVERSITY

FOR OTHERS, WITH OTHERS

### 今後のスケジュール（案）

第1回 令和4年10月17日（月）16：00～19：00（実施済）

- ・国際バカロレアの普及促進に係る取組と現状について
- ・主な検討事項について
- ・有識者ヒアリング

第2回 令和4年11月24日（木）13：00～16：00（今回）

- ・有識者ヒアリング
- ・主な検討事項について

第3回 令和4年12月19日（月）9：30～12：30

- ・これまでの議論の整理について
- ・取りまとめ骨子案について

令和5年1月以降、数回開催し、令和4年度中に取りまとめ予定